

「氷室」巻頭句一覧

巻頭句〔各号の右の句は氷壺集・左の句は氷室集〕

・・・・・・・・・・・・・・・・

平成27年(2015年)

9月号

夏至の日やまるくやさしく磨く窓  
往き来する漁船遊船また漁船

岐阜 大口 彰子  
三重 中野 梓

8月号

三人で出づる産院つばくらめ  
緋牡丹のすがたとのふ夕まぐれ

岐阜 大口 彰子  
茨城 余米 重則

7月号

地に戻す彫塑の粘土花曇  
孔雀の尾威風地を擦る花の昼

茨城 余米 重則  
群馬 高橋 千画子

6月号

浅蜷売待ち侘びてゐる小桶かな  
胸に抱くホルン蛙の目借時

京都 笹倉やよひ  
岐阜 大口 彰子

5月号

窓刺さんばかりに曲る軒氷柱  
跡継ぎは無きと漕ぎ出づ若布刈

群馬 佐藤美智子  
茨城 余米 重則

4月号

繭玉に昭和の柱時計鳴る  
舟小屋の破れゐるあたり冬怒濤

秋田 佐々木 成  
茨城 余米 重則

3月号

冬晴や渦が渦生む海の色  
天秤押ししなふ酸茎の漬かりやう

神奈川 宮澤 淑子  
神奈川 宮澤 淑子

2月号

指折るも素数のリズム冬ぬくし  
生涯に二度なき二度の十三夜

茨城 余米 重則  
和歌山 成川 和夫

1月号

露寒や金平糖の角のせみ

岐阜 大口 彰子

蚯蚓鳴く番地変はりし本籍地

滋賀

井深  
信男